

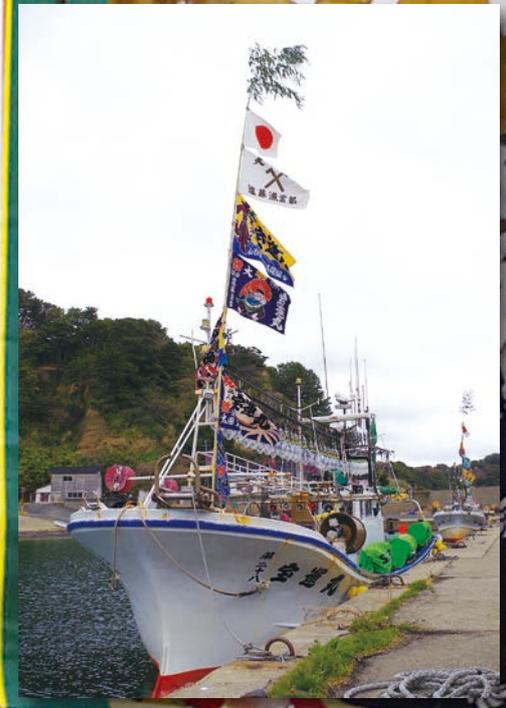
## 小物忌神社

# 例大祭

飛島の中村部落の森中に鎮座する元祖「小物忌神社」。昔、社名を「大宮神社」と改めました。「小物忌神社」を何故「大宮神社」と改めたのか、次のような事情があったそうです。

幕府による「神改め」が行われることになり、その際に立派な御神体は持っていかれるという噂が立った。これを恐れた島民は御神体を別の場所に隠し、役人には賽の河原にある「明神社」を「小物忌神社」だとして嘘をついた。由緒正しい「小物忌神社」を守る為だった。現在も「明神社」には偽装のために施されたという物証があると言われている。

信じるか信じないかはあなた次第です。 =西村が粕谷さんから聞いた話=



# 平成28年度地区座談会開催

(前号の続き)

## 豊浦地区

3月14日(火) 午前9時  
出席者29名(内女性部1名)

Q1. 市場統合に関して、漁協が考える青写真はありますか。

A 1. 市場統合は、漁協が考える青写真はありますが、毎年、総代会時に水揚表彰を行っているが量を獲るのではなく資源量も考慮し、質への転換を図る意味で廃止も検討したらどうか。

Q2. 漁業経営は、資材等高騰により厳しい。繰越欠損金も解消できる見込みとのことであり、漁協のマージンの取分を少なくしたらどうか。

A 2. 現段階では、具体的なものは無い。今後、漁業者・仲買人等の話を聞きながら具体的な検討に入りたい。

Q3. 以前も理事会で廃止の方向で検討したが、反対があり現状どおりとなっている。再度検討したい。

A 3. 繰越欠損金を解消するまでということでは組合員・職員に我慢をお願いしてきた。今後もどういふ状況になる

かわからない。内部留保を蓄えながらできるものから実施していきたい。今一気にはできない。

Q 定置の受益者負担金も孵化連から、2%を3・5%に上げるように要望されているが、網揚げ規制もあるので合意していない。刺網も受益者負担金を2%にしてみたい。

A 受益者負担金で対応すると、市場に揚がらない可能性がある。また、刺網を認めることになると思われ。

Q ライフジャケットの補助はあるのか。

A 組合員(正・准問わず)で65歳以上・購買扱い・漁船保険加入など要件を満たしていれば最大80%の補助が得られる。

Q 昨年、アワビの放流が1ヶ月程度遅くなっているが理由は何か。外敵が少ない時期に放流してもらいたい。

A 栽培センターの種苗生産が間に合わないということ、春と秋の2回に分けて実施している。今後栽培センターに要望する。

Q 沿岸漁業改善資金に基金協会保証をつければ、保証人は必要ないか。

A 改善資金は県の資金であり、基金協会保証は必要ないが保証人は必要となる。



## 飛鳥地区

3月16日(木) 午前11時  
出席者13名

Q マグロ釣漁業用餌のイカが昨年は高騰したが、今年の見込みはどうか。また、とびイカを餌として使用できないのか。

A 今年も昨年並みと思われる。とびイカについては、現在試験操業で獲っているものであり今後どのようなかわからない。全国いか釣協議会に確認します。

Q 活アワビを出荷しているが、昨年と比較すると単価が¥800〜1,000円位安い。販売

方法を検討してもらいたい。

A 今年度は、飛鳥だけでなく他地区のアワビも¥1,000円位安い。全国的に下げ相場となっていた。販売方法については、検討したい。

Q 酒田にイカの加工場が出来たが、船凍イカしか扱わないのか。生イカは買わないのか。

A ばらサイズの生イカも必要とは言っていたが、昨年は浜値が高くて買っていない。加工値段となると生売りとは違い安い値となる。また、ばらイカを当漁協の立体冷蔵庫にて凍結し、その後売った事もあったが緩慢凍結のため使用できないと言われた経緯もある。加工に合う値段ならば購入すると思われる。

\*専務理事制の設置について(常務理事制の廃止)及びサケ増殖事業に係る経費負担については、各地区反対意見はなかった。



# 人事異動のお知らせ

## 山形県漁業協同組合

### ◆異動(平成29年4月1日付〔 〕は旧所属)

- 西村 盛 参事  
〔指導課長〕
- 佐藤 修 由良総括支所長  
〔念珠閣総括支所長〕
- 佐藤 善隆 念珠閣総括支所長  
〔由良総括支所長〕
- 佐藤 健 指導課長  
〔指導課係長〕
- 安藤 大栄 購買課長  
〔由良総括支所次長〕
- 齋藤 誠 製氷工場長  
〔さかた総合市場長代理〕
- 佐藤 大輔 由良総括支所次長  
〔由良総括支所長代理〕
- 大淵 敬三 信用共済課長代理  
〔指導課係長〕
- 田中 寿幸 さかた総合市場長代理  
〔念珠閣総括支所長代理〕
- 佐藤 洋二 念珠閣総括支所長代理  
〔念珠閣総括支所係長〕
- 本多 篤 管理課係長  
〔管理課〕
- 倉田 公平 水産加工場係長  
〔産直庄内海丸店長 山形市勤務〕  
〔水産加工場(産直庄内海丸) 山形市勤務〕
- 佐藤 一樹 由良総括支所係長  
〔念珠閣総括支所〕
- 菊地 廉 念珠閣総括支所係長  
〔念珠閣総括支所〕
- 石澤 利明 飛鳥支所係長  
〔飛鳥支所〕
- 二階堂 琢 念珠閣総括支所  
〔販売企画課〕
- 小林 舞 管理課  
〔信用共済課〕
- 阿部 文枝 販売企画課  
〔管理課〕
- 佐藤 智穂 さかた総合市場  
〔販売企画課〕
- 佐藤 理恵 由良総括支所  
〔豊浦支所〕
- 佐藤真由美 念珠閣総括支所  
〔由良総括支所〕

### ◆退職(平成29年3月31日付)

- 齋藤 秀樹 〔購買課長〕(定年退職)
- 白畑 太 〔製氷工場長〕(定年退職)
- 嶋屋 艶 〔念珠閣総括支所〕(定年退職)

### ◆新規採用(平成29年4月1日付)

- 佐藤 真生 販売企画課  
〔さとう まさき〕
- 田宮 海輝 念珠閣総括支所  
〔たみや かいき〕

### ◆定年退職者再雇用 採用(平成29年4月1日付)

- 白畑 太 製氷工場
- 嶋屋 艶 豊浦支所

### ◆嘱託職員採用(平成29年4月1日付)

- 五十嵐 淳 産直庄内海丸店(山形市)
- 佐藤 一弥 購買課(第五ちとせ丸機関士)

### ◆嘱託職員 退職

- 佐藤 剛 〔産直庄内海丸店(山形市)〕

## 全国合同漁業共済組合 山形県事務所

### ◆昇格(平成29年4月1日付)

- 高梨 裕介 係長役〔主任〕

## 山形県水産関係職員

(平成29年4月1日付〔 〕は旧所属)

### ●庄内総合支庁産業経済部水産振興課

- 桂 和彦 次長(兼)水産振興課長  
〔農林水産部水産振興課 水産技術主幹〕
- 阿部 哲夫 漁港整備主幹  
〔庄内総合支庁産業経済部農村整備課 課長補佐(施設)〕
- 佐藤 年彦 課長補佐(振興普及・漁業調整担当)  
〔農林水産部水産振興課 企画振興専門員〕
- 大山 清之 課長補佐(漁港整備担当)  
〔庄内総合支庁建設部道路計画課 道路企画専門員〕
- 齋藤 勝三 機関長(課長補佐級へ)  
〔機関長〕
- 横沢 弘美 総務主査(兼)総務係長  
〔鳥海学園 総務主査〕
- 高橋 伸明 主任専門水産普及指導員(兼)水産振興主査  
〔水産試験場 主任専門研究員(浅海増殖部)〕
- 梅津 新 主事(総務係)  
〔商工労働観光部観光経済交流局観光立県推進課 主事〕
- 工藤 充弘 水産普及指導員(振興普及担当)  
〔水産普及指導員(兼)全国豊かな海づくり大会推進課技師〕
- 渡邊 保 機関士(漁業調整担当)  
〔水産試験場 機関士〕

### ◆常任再任用

- 多田 信之 主任主査(漁港整備担当)  
〔庄内総合支庁建設部河川砂防課 課長補佐〕

### ◆新規採用

- 槇 宗市郎 技師(振興普及担当)
- 大金 凌河 技師(漁港整備担当)

### ●県庁 農林水産部水産振興課

- 齋藤 貴 水産振興課長  
〔庄内総合支庁産業経済部 地域産業経済課長〕
- 阿部 信彦 水産技術主幹  
〔庄内総合支庁産業経済部水産振興課 課長補佐(振興普及・漁業調整担当)〕
- 長谷部耕二 水産行政主査  
〔置賜総合支庁総務企画部総務課連携支援室 主査〕
- 大川 恵子 水産企画振興主査  
〔主査〕
- 工藤 創 主査(水産企画振興担当)  
〔内水面水産試験場 専門研究員(資源調査部)〕
- 野口 大悟 主査(水産企画振興担当)  
〔水産試験場 専門研究員(海洋資源部)〕
- 堀 佑子 技師(漁港漁場担当)  
〔最上総合支庁建設部道路計画課 技師〕

### ●水産試験場

- 笠原 裕 場長  
〔内水面水産試験場〕
- 板本 健児 海洋資源部長(兼)農業技術  
環境課温暖化技術専門員  
〔庄内総合支庁産業経済部水産振興課 水産振興普及専門員〕
- 本間 敦人 総務主査(兼)庶務係長  
〔総務課 庶務係長〕
- 塚形 馨 主任専門航海士  
〔主任航海士〕
- 高澤 俊秀 主任専門研究員(浅海増殖部)  
〔庄内総合支庁産業経済部水産振興課 主任専門水産普及指導員〕
- 高木 牧子 専門研究員(海洋資源部)  
〔農林水産部水産振興課 主査〕
- 齋藤 哲 研究員(海洋資源部)  
〔研究員(浅海増殖部)〕
- 杉山 光太 機関士  
〔庄内総合支庁産業経済部水産振興課 機関士〕

### ◆新規採用

- 齋藤 祥司 研究員(浅海増殖部)

### ●内水面水産試験場

- 忠鉢 孝明 場長  
〔副場長〕
- 加賀山 祐 副場長(兼)生産開発部長  
〔水産試験場 海洋資源部長〕
- 河内 正行 主任専門研究員(資源調査部)  
〔水産試験場 主任専門研究員(海洋資源部)〕

※他公所への転出者につきましては、掲載を省略させて頂きましたのでご了承願います。

# 理事会情報

平成28年度 第9回 理事会議案  
 開催日…平成29年3月18日(土)  
 場所…本所 第一会議室

### 【協議事項】

- 1 第52事業年度通常総代会の開催と議長選出について
- 2 平成28年度決算方針(案)について
- 3 平成29年度における貸付金利率の最高限度額及び同一人に対する信用供与等の最高限度額について
- 4 余裕金の預け入れ先の決定について
- 5 理事者の利益相反行為に該当する貸付金の審議について
- 6 貸付金の審議について
- 7 平成29年度コンプライアンス・プログラム(案)について
- 8 平成29年度内部監査計画書(案)及び職員研修計画(案)について
- 9 平成29年度販売掛金と信極度額の承認について
- 10 平成29年度における理事の購買掛限度額設定(案)について
- 11 平成29年度潜水漁業(すもぐり)の制限について
- 12 漁業者団体代表者変更による組合員資格審査委員の承認について
- 13 役員の利益相反行為に該当する浜の担い手漁船リース事業に関する漁業近代化資金の借入れについて
- 14 浜の担い手漁船リース事業に関する漁業近代化資金の借入れについて
- 15 参事の選任について

### 【報告事項】

- 1 平成29年度2月末現在の状況について
- 2 貸付金利率の改定について
- 3 石油製品価格の改定について
- 4 平成28年度地区座談会開催状況について
- 5 組合員の加入・脱退について
- 6 水産業協同組合監査士試験の合格について
- 7 人事異動(内示)
- 8 その他

平成29年度 第1回 理事会議案  
 開催日…平成29年4月18日(火)  
 場所…本所 第一会議室

### 【協議事項】

- 1 平成28年度資産自己査定による償却・引当金の決算計上について
- 2 平成28年度事業収支状況について
- 3 組合員資格審査委員会の答申について
- 4 正組合員以外の理事並びに員外監事の推薦について
- 5 役員慶弔規程及び職員慶弔規程の一部変更について
- 6 育児・介護休業に関する規則の一部変更について
- 7 契約関係事務処理要綱及び職制規程の一部変更について
- 8 潜水器使用による採捕について

### 【報告事項】

- 1 債権管理委員会の報告について
- 2 平成29年3月末における資金運用状況について
- 3 平成28年度さけ海中飼育実績報告について
- 4 平成28年度漁業権行使料徴収実績について
- 5 コンプライアンス推進委員会の開催について
- 6 役員候補者推薦委員の報告について
- 7 水揚優秀船の表彰について
- 8 平成28年度第4四半期における販売促進活動について
- 9 平成28年度第4四半期の「庄内海丸」の収支について
- 10 総代選挙の結果について
- 11 組合員の加入・脱退について
- 12 その他

## 総会・総代会の日程

### ●山形県漁業協同組合

《通常総代会》六月二十七日(火)

午前十時 本所・講堂

尚、午前九時より水揚表彰式を行います。

### ●日本漁船保険組合

《通常総代会》六月十九日(月)

午後二時

(東京都) グランドパレス

### ●山形県漁業信用基金協会

《通常総会》六月二十七日(火)

午後一時三十分

漁協本所・講堂

### ●全国合同漁業共済組合

《通常総代会》六月二十一日(木)

午後三時

(東京都) KKRホテル東京

### ●全国共済水産業協同組合連合会

(共水連)

《通常総代会》七月二十七日(木)

午後一時三十分

(東京都) コーピビル

# 新 人 紹 介



販売企画課  
佐藤 真生

この度、4月1日より販売企画課に配属になりました佐藤真生です。社会人1年目で未熟な面もありますが一生懸命頑張りたいです。自分の生まれは鶴岡市小波渡です。漁師だった祖父がよく漁や市場に連れて行ってくれたので魚は大好きです。自分の趣味はランニングで、よく由良や堅吾沢まで走っています。あとは新しい趣味としてルアー釣りも始めてみようかと考えています。今年度の抱負は、多くの人に自分の顔を覚えてもらえるようにしていきたいです。そのために積極的に話しかけていきたいと考えています。また、販売企画課として庄内浜産の魚介類の魅力やおいしさを広く伝えていけるように広報活動を頑張っていきたいと思います。新人ではありますがこれからご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。



念珠関総括支所  
田宮 海輝

この春から念珠関総括支所に配属になりました田宮海輝です。祖父が漁師をしていたこともあり、海という存在は大変身近にありました。自分自身、海に興味があったのでこういった仕事に就くことができ大変光栄に思います。加茂水産高校に在学中はアルバイトとして、由良総括支所で約半年半働かせて頂きました。由良総括支所では現場仕事や灯油配達の手伝いなどの仕事をしていました。初めはどつすれば良いかわからない時でも、自分がわかるまで丁寧に教えて頂きました。由良総括支所の職員の皆さんや地元の方々から温かい目で見守って頂き、大変充実した日々を送ることが出来ました。春からは全く違った環境で慣れるまで時間がかかりましたが、支所長をはじめ職員の皆さんから支えられ新しい環境にも慣れてきました。確実に成長し、仕事の面、人間的な面でも信頼されるような職員になるのが目標です。毎日が勉強の日々ですがしっかりと吸収し、漁業者の皆様そして地域の皆様に貢献出来るように精進していきますのでよろしくお願ひ致します。

## 漁船リサイクル コーナー

※各種装備充実しております。興味のある方は  
枠内の連絡先までご連絡ください。



価 格	応相談
船 質	アルミ軽合金
船 名	第三興隆丸 (酒田港)
漁 業 種 類	はえ縄
進水年月日	昭和61年3月19日
ト ン 数	4.9トン
主 機	ジーゼル 277kw いすゞUM6HEITCG
各 種 装 備	船体と主機 エンジンリモコン アベ電業社製 操作部2系統 自動切換え 前後進足踏み併設 自動操舵装置 ユニカス製 GPSプロッターと連結 ラインホーラー 電気式24V400W 足踏みスイッチ付油圧式 (泉井式) 揚網機 油圧式 2台 レーダー (GPSと連結)、無線装置、GPSプロッター、カラー魚探、海水殺菌装置 他
造 船 所	有限会社柳島造船
連 絡 先	山形県漁業協同組合 本所 指導課：0234-24-5612

● 安全は 船と心の 整備から

平成29年  
4月1日

# 日本漁船保険組合が 誕生しました

## 平成29年度組織統合に 伴う新事業について

### AIS（船舶自動識別装置）助成事業

事故防止事業の一環として、AIS搭載漁船に対する助成事業を実施

### 無事戻事業

事故防止事業の一環として、組合員の事故防止意識の高揚と醸成を目的に、一定期間無事故であった組合員に対して、一定割合無事戻金を支払う事業を実施

## 保険料率改正について

今年度は、3年に一度の料率改正年であり、料率改正が行われました。20トン未満船のPI基本損害保険料率は大幅な引き下げとなっております。

## てん絡物除去費用 取扱いの一部改定について

てん絡事故により、航行不可となった場合に限り、推進機及び船体への損害の有無に関わらず、保険填補の対象として取り扱います。

注1) 客観的な資料で具体的に確認できないものは対象外

注2) 事故直後の事故速報・てん絡物の写真・他船による曳航証明等が必要

日本漁船保険組合は、全国の漁船保険組合が合併し、漁船保険中央会の全ての権利義務を引き継いだ組織です。これまでの漁船保険組合は支所となり、保険加入の手続きや、事故が発生した場合の対応等は、支所が行ってまいります。今後とも変わらぬご愛顧をよろしくお願いいたします。



日本漁船保険組合 山形県支所

## 「海の羽根」募金に ご協力をお願いします！

山形県海と渚環境美化推進協会では、海の環境美化を目的とした「海の羽根」募金活動を行います。

実施期間 7月1日から7月31日までの1か月間

募金場所 市役所、町役場、庄内総合支庁、県漁協など

未来につなげよう

青い海と  
美しい渚

お問い合わせ先

庄内総合支庁 水産振興課内

山形県海と渚環境美化推進協会

事務局 担当：今野

TEL 0234-24-6041

豊かな山形県の海を守るため、

皆様からのご協力を

よろしくお願いいたします。

● 事故防止 あなた自身の 心がけ

# 水揚情報

平成29年4月30日現在

(単位：千円)

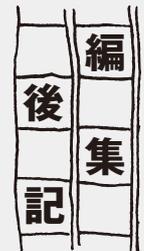
区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
月末迄水揚累計		0	0	0	0	0	0	0	0	0
月間水揚	県内船水揚	153,706	7,636	5,785	31,607	11,943	25,270	16,349	6,251	48,865
	県外船水揚	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	<b>153,706</b>	<b>7,636</b>	<b>5,785</b>	<b>31,607</b>	<b>11,943</b>	<b>25,270</b>	<b>16,349</b>	<b>6,251</b>	<b>48,865</b>
前年同月水揚		155,346	8,477	6,001	27,447	14,502	30,516	16,764	11,193	40,446
本年度水揚	県内船水揚	153,706	7,636	5,785	31,607	11,943	25,270	16,349	6,251	48,865
	県外船水揚	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	<b>153,706</b>	<b>7,636</b>	<b>5,785</b>	<b>31,607</b>	<b>11,943</b>	<b>25,270</b>	<b>16,349</b>	<b>6,251</b>	<b>48,865</b>
前年度水揚累計		155,346	8,477	6,001	27,447	14,502	30,516	16,764	11,193	40,446
増減		-1,640	-841	-216	4,160	-2,559	-5,246	-415	-4,942	8,419

# 平成28年度水揚高

平成29年3月31日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
本年度水揚	県内船水揚	2,597,750	125,360	110,049	1,034,433	135,937	321,925	215,987	71,229	582,830
	県外船水揚	1,026,970	0	0	1,019,923	0	1,785	0	0	5,262
	合計	<b>3,624,720</b>	<b>125,360</b>	<b>110,049</b>	<b>2,054,356</b>	<b>135,937</b>	<b>323,710</b>	<b>215,987</b>	<b>71,229</b>	<b>588,092</b>
前年度水揚累計		3,004,018	132,543	132,173	1,203,015	155,967	402,435	264,436	84,731	628,718
増減		620,702	-7,183	-22,124	851,341	-20,030	-78,725	-48,449	-13,502	-40,626
本年度水揚計画		2,540,000	120,000	115,000	993,000	132,000	318,000	198,000	74,000	590,000
達成率		142.7%	104.4%	95.6%	206.8%	102.9%	101.7%	109.0%	96.2%	99.6%



○つい先月まで雪の中、マンサクの花が寒そうに咲いていたが今はさくらが、これみよがしに満開となり大手を振っている。満開のさくらもいいが、花の落ちた葉さくらも風情がある。近くの山ではふさのつが、大きく伸び、かたくりのむらさき色の花が下向きに咲いて憂いを帯びているようだ。花のさくらには満開だが、海のサクラマスはさっぱりと聞いている。風も続かず漁も芳しくない。漁民も憂い顔となっている。

○昔、今頃はいわし流網漁が始まり、夜3時頃からいわしの荷揚げがあった。荷揚げ終了後にいわしのお汁を食うのが常脂ののった大羽いわしで子かとりとろしてうまい。最近こんないわしを食ったことがない。

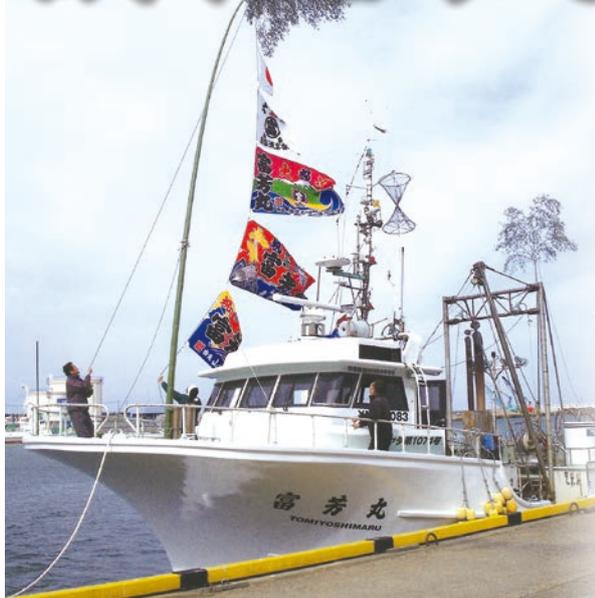
○4月は異動の季節。新天地ではりきっている人、残留組で頑張っている人。人それぞれ思いはあるのかも知れないが、平家物語の冒頭「祇園精舎の鐘の聲から始まり……おこれる人も久しからず、ただ春の夜の夢のごとし。たけき者も遂には滅びぬ、ひとえに風の前の塵に同じ。」のとおり

「おれいしななれ」  
○今後の水揚げに期待し、各船の大漁と操業・航海の安全をご祈念申し上げます。

総務部長 松本 一夫

● 海難は 慣れと心の 油断から

# 由良港富芳丸進水式



4月吉日、真っ白な船体に色鮮やかな大漁旗を何枚も風になびかせた富芳丸の進水式が由良漁港にて厳かに執り行われました。

由良漁港に回航されて来た「NEW富芳丸」を多くの親戚や地元の漁師、由良総括支所の職員が出迎えました。

お神酒を振る舞う船主・船頭の齋藤守さん、乗組員の富樫康明さん、藤谷光典さんに進水を祝う声かけられ、それに応える三人の表情はとても生き生きとしていて『大漁するぞ!』という気合がひしひしと伝わってくるようでした。

これからもっと効率的に漁獲を伸ばして、航海安全と大漁満足、家内安全で地元に「んめー庄内浜の魚」を届けて欲しいと思います。

富芳丸は国が進める水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（浜の担い手漁船リース緊急事業）の山形県内第1号船となります。由良港には県の持続的漁業支援事業にて建造された漁船もあり、浜の活性化と水産日本の復活に向けた起爆剤となる事を期待します。

由良統括支所 鈴木 紳之介



# 鼠ヶ関大漁旗フェスティバル



今年で26回目を迎えた鼠ヶ関大漁旗フェスティバルが5月4日、みどりの日に鼠ヶ関港にて開催されました。天候にも恵まれ大勢のお客さんが来場されました。開始前から長蛇の列ができており一番早く来られた方は5時頃には並んでいたそうです。

開会セレモニーでは辨天太鼓の力強い演奏が披露され会場が大いに沸きました。鼠ヶ関漁業青年会会長の佐藤祐作さんが挨拶で「魚を食べてください。魚を知ってください。そして魚を伝えてください。」と述べられました。また、加藤鮎子さんもご出席され、ご祝辞で「鼠ヶ関の人の温かさ、気前の良さには感

動しました。」と述べられました。

開会セレモニーが終わり、鮮魚販売がスタートするとたくさんの方が市場に集まりすぐに売り切れました。魚の詰め放題も昨年同様人気があり大変にぎわっていました。波も穏やかな中行われた漁船クルージングでは、ここ庄内の海でしか味わえない潮風を浴びながら大海原に向けて出発しました。魚のつかみ取りでは、子供たちが全身びしょ濡れになりながら夢中で魚を追いかけていました。

ご来場して下さった皆様本当にありがとうございました。また協力して下さった皆様、この日の為に準備して下さった漁業者の皆様本当にありがとうございました。来年も更なる来場者を期待しています。

念珠関総括支所 田宮 海輝

# 船みこし



5月5日(金) 出羽一宮 鳥海山 大物忌神社例大祭(吹浦まつり)が厳かに執り行われました。

当日は4年ぶりに「船みこし」が繰り出され、沿道には名物になったニシンを求め、これまでにない歓喜の音が上がりました。

澤口勉船頭を先頭に地元の若手漁師の他、今年は漁協が受入れているインドネシア共和国からの漁業実習生12名がエンジンとなり祭りを盛り上げてくれました。

最初は不慣れな実習生の為、船もローリングやピッチングが激しかったのですが終盤は安定した航海となりました。祈大漁!

